



日本プライマリ・ケア連合学会
近畿ブロック支部



発行人：雨森 正記
事務局 〒550-0001 大阪府大阪市西区
土佐堀 1-4-8 日栄ビル 703A
あゆみコーポレーション内
Tel.06-6441-4918 Fax.06-6441-2055
E-mail jpca@a-youme.jp
HP primary-care.or.jp/primarycare-
linki/

ニュースレター No.37 (2022.9)

報告：近畿ブロックオリエンテーション オンラインで開催

蓮間 英希（西淀病院／大阪市）

猛暑が差し迫る 6月26日に、近畿一円の専攻医 17名（1年目 12名、2年目以上 5名）を迎えて指導医を含めて総勢 50名でオンラインのオリエンテーションを開催しました。草場鉄周先生より専攻医に向けてのメッセージをいただき、横谷省治先生から新・家庭医療専門医についての説明もしていただきました。

「研修開始にあたって」（阪本宗大）「専攻医部会紹介」（田中いつみ）「ポートフォリオって何？生涯教育として考える」（大竹要生）という内容で、専攻医にもイメージがわくように講義を行いました。近畿のプログラムから「自慢の教育コンテンツ！」の紹介もあり、指導医の教育への思いも感じられる発表もしていただきました。バーチャル医局というオンラインでいつでも全国の仲間との繋がりができるようなコンテンツの紹介もあり、今後の盛り上がり注目です。

懇親会では、オンライン開催もいいが、やはり実際に会ってコミュニケーションをとりたいという声もあり、感染症の流行を考えて開催方法は今後検討されることとなりました

特集 1：近畿の話題（今回は、奈良・和歌山からです）

ベッドサイドで伝えること

山下 勇樹（土庫病院総合診療科／大和高田市）

はじめまして。私は奈良県大和高田市にある土庫病院総合診療科で勤務しております。もともとは、学生や研修医の時に実習に行った産科診療まで行うアメリカの家庭医にあこがれて、産婦人科専門医を先に取得しました。その後は、当院の系列診療所である大福診療所（奈良県桜井市）の FDMI なら総合診療/家庭医療レジデンスプログラムで家庭医療・総合診療のトレーニングを行い、家庭医療専門医を取りました。学生や研修医の時から熱心な指導医に恵まれていたこともあり、また家庭医療の中では医学教育も重要な要素であることから、後輩に教えることは以前から興味がありました。また、どうすればもっと日本に家庭医療・総合診療が根付いてその道に進む若い医師が増えるかにも関心がありました。現在は内科研修の指導医という立場で働いています。今回は私が指導医として、大事にしていることや若い先生達に何を伝えたいかを、皆さんにも共有したいと思います。

自分が研修医の時に指導を受けた先生は、一緒に回診してベッドサイドで直接身体所見の取り方も含めて教えてくれる先生でした。その後様々な病院や環境で働きましたが、一緒に回診してくれる上級医は多くないことを知りました。経験が少なく不安の多い初期から後期にかけては、ベッドサイドで一緒に診療してくれる上級医の存在はとても勉強になり、自身が初期研修医時代に受けた教育がいかに貴重で重要な物であったかは、自分がある程度臨床が出来るようになった後から分かりました。ですので、研修医の受け持つ新入院の患者さんたちを毎日一緒に回診し、ベッドサイドで教えることを私は重要視しております。それは知識や所見の研修医皆での共有も大事と考え、また私が患者さんの前でどう診察するかの振る舞いも hidden curriculum として研修医達に見せる意味で重要と思っています。

この回診に実習や病院見学の学生さんも加わってもらうこともあります。午後には振り返りの時間を毎日 1 時間程度設けていて、それぞれの研修医の受け持ち患者さんの状況報告を兼ねています。その際、回診で相談した治療方針の補足として、どのようにケアしていけば患者中心の医療になるのかを、皆で相談し研修医達にも考えてもらうよう発言を促しています。この時に、SDH を含めた患者背景や家族志向型のケアなども考えられるように適宜私からもアドバイスするよう心掛けており、家庭医療・総合診療での重要な考え方が身に付くよう努めています。

以上私が日々行っている指導で重要と考え実践している内容です。最近では家庭医療・総合診療のプログラムに入る専攻医が増えてきており、徐々にですが、成果が現れていると感じています。これからも、教育を通して、良き家庭医・総合診療医が増え、日本でこの領域がさらに発展していくよう、少しでも貢献したいと思っています。



和歌山県支部の活動と総合診療専門医プログラム

畑 伸弘（和歌山生協病院 内科／和歌山市）

奥根 百合（和歌山生協病院総合診療・家庭医プログラム）

和歌山県支部は、2022 年に 羽野卓三先生（大会長／和歌山県立医科大学 教育研究開発センター）から、廣西昌也先生（和歌山県立医科大学付属病院 分院長）に支部長交代、副支部長：畑 伸弘、山本康久、高垣有作、会計：川邊 哲也、会計監査：山本康久となりました。和歌山県では、旧プライマリ・ケア学会を中心に学会活動が盛んでした。連合学会となって、2017 年に第 30 回近畿地方会を羽野会長の下で開催しました。しかし、学会員の数もまだまだ少なく、支部としての活動も緒に就いたところです。

総合診療専門医プログラムは、和歌山県総合診療、南和歌山総合診療、和歌山生協病院総合診療の 3 つとなり、現在 6 人が研修中です。家庭医療プログラムは、南和歌山医療センターと和歌山生協病院で運用されています。

和歌山生協病院では、本田明生先生が家庭医の先駆者として活躍されていましたが、2017 年に 38 歳の若さで急逝されました。いま、愛弟子の女性医師が、家庭医として頑張ってくれています。当院は、臨床研修指定病院で、今年度 3 人を受け入れています。地域に根差した研修、患者さんを生活の視点でとらえることを重視した研修を行っています。初期研修終了後、家庭医プログラムに 5 人を送り出してきました。今年度、総合診療・家庭医専門研修に参加された奥根百合先生より、メッセージいただきました。

『総合診療・家庭医プログラム専攻 1 年目の奥根です。市中病院ならではの困難な症例を経験し日々学ぶことが多いです。優しく熱心な先生方にご指導いただいております。アットホームな雰囲気でもメディカルとの垣根も低く、いつも相談にのってもらっています。困難事例をもつことで、チーム医療の大切さを実感しております。患者さん、メディカルの方から信頼される医師になれるよう一歩ずつ精進して参ります。』

写真は、月 1 回開催している臨床倫理の 4 分割法を用いた多職種参加の症例検討会です。奥根先生より、アルコール問題を抱え、在宅療養が困難となり入院となった症例の提示。施設入所がやむなしと思われましたが、家族カンファレンスの開催・介護支援の強化・経済的支援・アルコールに対する地域の支援など、様々な提案をいただき、在宅療養が可能となりました。多職種連携の大切さを実感する症例でした。

最後に、近畿地方会、次回は和歌山で開催とのこと。私も副支部長として、和歌山県支部活動を盛り上げていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。





吉本 清巳 (第 35 回近畿地方会大会長/奈良医大総合医療学)

2022年11月20日に行われる第35回近畿地方会の大会長の吉本清巳です。「新時代へのパラダイムシフト～わくわくする地域へ～」をテーマに鋭意準備を進めております。

8月31日に演題登録が終了しました。多数の演題登録、誠にありがとうございました。

9月1日から10月19日まで事前登録期間です。フォトコンテストも、10月19日まで募集しています。

今回の地方会は、10月20日から、事前オンデマンド配信を行います。

特別講演をしていただく興福寺録事ザイレ暁映さん、座長の奈良県医師会会長安東範明先生との**特別対談**を配信します。8月30日に対談を行い、ザイレさん、安東先生の新しいことへの挑戦、今後のビジョンなどお話しただいており、とても聞きごたえのある対談です。

オンデマンド教育講演は、現在 **13 コンテンツ**を予定しています。

多職種向けの教育講演として「地域医療のブレイクスルー『～全職員が主役の脱専門化志向～』、京都府山城北保健所長 **四方哲先生**」、「ACPについて (仮題)、臨床宗教士 **佐々木慈瞳先生**」、「災害時医療の昔と今、そして未来：来るべき南海トラフ地震に備えて...、兵庫県災害医療センター 名誉院長 **中山伸一先生**」、「摂食嚥下障害のリハビリのため、その評価と訓練方法について (仮題)、訪問看護ステーションたべる **竹市美加先生**」、「ポリファーマシーについて (仮題)、やわらぎクリニック **北和也先生**」。

主に医師対象とした講演として「プライマリ・ケアの現場で役に立つ感染症の話 (仮題)、奈良医大感染症センター教授 **笠原敬先生**」、「海外の家庭医療と日本の家庭医療 (仮題)、**佐野潔先生**」、「『メンタル不調者』の復職支援 (仮題)、株式会社夏目こころのコンサルティング **夏目誠先生**」、「救急外来で役立つ！マイナーエージェンシー対応、東京慈恵会医科大学 救急医学講座 **宮道亮輔先生**」、「病状説明について (仮題)、南奈良医療センター **天野雅之先生**」、「小児期から成人期への移行について (仮題)、かがやきクリニック **南條浩輝先生**」、「ポートフォリオの作成支援！ (後期研修医向け) (仮題)、**稲岡雄太先生 松島和樹先生**」、「経験症例を学会・論文発表する Tips、神戸大学大学院医学研究科 地域医療支援学部門 特命教授 兵庫県立丹波医療センター 地域医療教育センター長 **見坂恒明先生**」という内容になっています。

当日のシンポジウム、教育講演も鋭意準備中です。「**多職種カンファレンス**」をテーマにしたシンポジウムでは、初の試みで、現地・オンライン同時のグループワーク (GW) も検討しています (GW参加は事前登録になる可能性があります)。託児所も完備します。ホームページ、フェイスブックなどで適宜情報発信しております。

現地でもオンラインでもたくさんの皆様のご参加をお待ちしております。どうぞよろしくお願い致します。



日本プライマリ・ケア連合学会 第 35 回近畿地方会

<https://award-con.com/pc35kinki/>

報告 : 2022 年度オンライン代議員会開催

長 哲太郎 (ファミリークリニックなごみ/大阪市)

7月22日にオンライン代議員会が開催されました。当日は60名の代議員がオンライン参加され、2021年度事業報告(第33回近畿地方会、P-FESなど)、2021年度決算の承認、また2022年度の事業予算計画について協議し、決議しました。また、幹事会メンバーの増員や、近畿地方会の持ち回りについて、2年に1回はオンライン地方会を導入するなど重要な議案も決議されました。詳しくは当日の議事録をご参照ください。 https://docs.google.com/document/d/17AXhmFe2dXmyD23Wt1eqMtIa9k0QH0iGkr_FyIaz1z0/edit



その他

●近畿ブロックのレジェンドたちのライフヒストリー&感動秘話

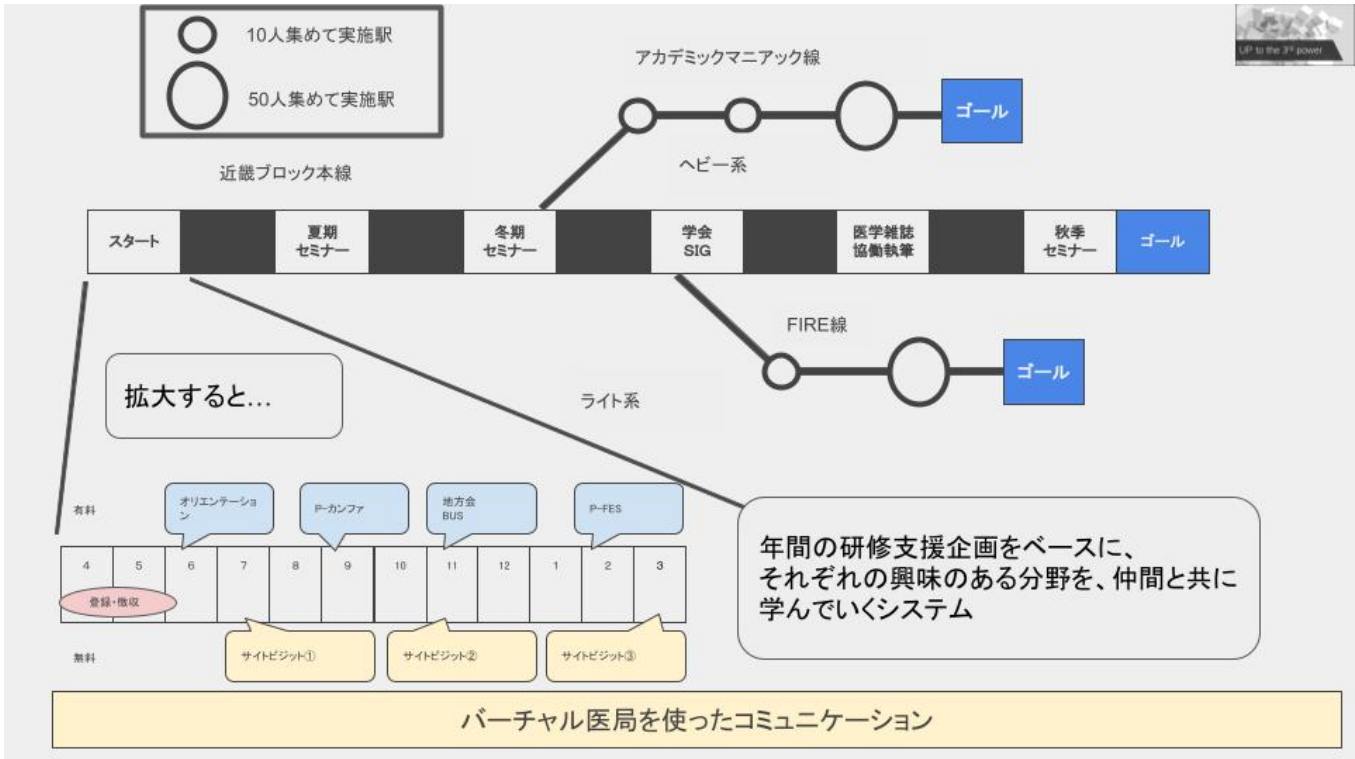
- # 1 石丸裕康 先生
- # 2 木戸友幸 先生
- # 3 中山(畔田)明子 先生
- # 4 雨森正記 先生
- # 5 鈴木富雄 先生
- # 6 松井善典 先生
- # 7 竹中裕昭 先生
- # 8 三澤美和 先生
- # 9 専門研修をはじめたばかりの3人の専攻医



<https://podcasts.apple.com/gb/podcast/legend-of-gp-in-kpca/id1583573369>

をゲストに迎え、順調にポッドキャスト収録が進んでいます。ぜひ一度お聞きください。

●近畿ブロックの研修ブラッシュアッププロジェクト ～up to the 3rd power～



up to the 3rd power という、専攻医の研修を近畿全体でシステマティックにサポートし、一人ぼっちの専攻医を作らないプロジェクトを始めました。現在、月一回のミーティングを行っています。

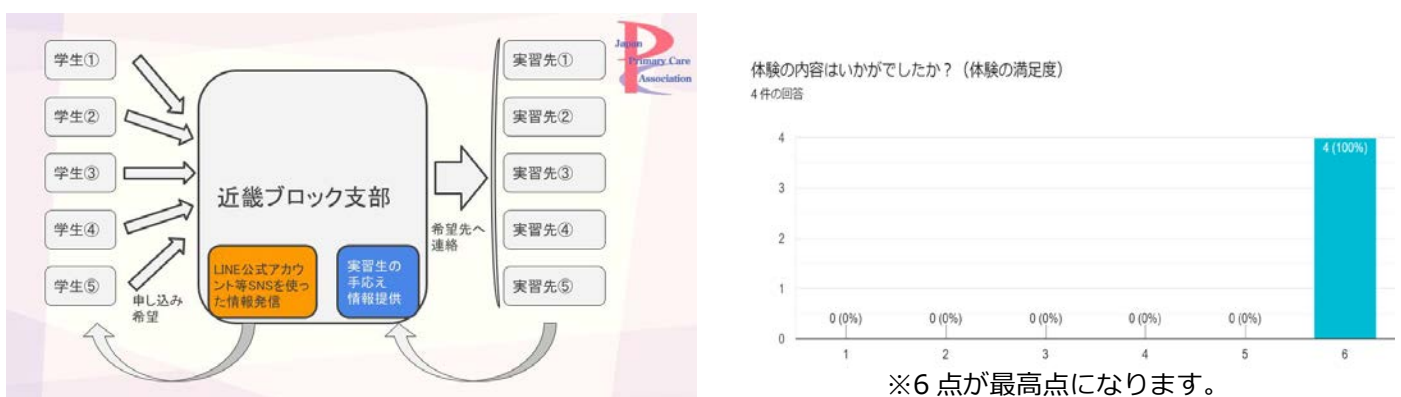
2022年度は、6、7月頃に登録を行い、年間の専攻医のための教育イベントについて、通年参加できるシステムを考えています。(上図参照)ただ、まだまだバーチャル医局も含めて認知度が低い状況です。お近くの専攻医の方々にぜひ、お声掛けをお願いいたします。

ミーティングは、基本的には第四火曜日（第五がある場合は第五）の21時から行っています。

プロジェクトに興味がある、関わりたいという方、ドシドシ連絡ください。

登録先はこちらです。 <https://forms.gle/kiVioQdp5CA86jTN6>

●近畿ブロックで学生実習プロジェクト



代議員の皆様の中で、2022年夏以降、低学年も含めて学生実習を引き受けただけの方にお申し出いただき、医科大学内に掲示するための実習先リストを作成し、コロナ第7波のご多忙の中、学生実習を受け入れていただきました。9月20日時点で、22名の申し込みがあり、17名が実習を終了しました。学生の皆様にとって、総合診療に触れる原体験になったと思います。受け入れていただいた皆様、受け入れを表明頂いた皆様、心より感謝申し上げます。これからも近畿ブロックの活動に何卒ご協力お願いいたします。

ニュースレター編集委員大募集！！

朝倉 健太郎 (大福診療所/桜井市)

近畿ブロックニュースレター編集部では、近畿ブロック支部や各府県支部の取り組み、会員のみなさまの近況などを中心に編集作業に取り組んできました。3ヶ月毎、年4回の発行を行っており、本誌2022年秋号は37号にあたります。今回より、薬剤師、竹内あずさ先生にも編集部の一員としてご協力いただくことになりました。竹内先生、みなさま、どうぞよろしくお願いいたします！引き続き、様々な立場、役割を担っている会員のみなさまの活動を幅広く取り上げていくことができればと考えております。

ご興味のある方は、編集部 kentaroasakura@gmail.com 朝倉 までご連絡下さい。

[支部からのご連絡] **ブロック支部活動について皆様からのご意見やご提案をお待ちしております！**

近畿ブロック支部・各府県支部・公認グループ活動のホームページが更新されました！

<http://www.primary-care.or.jp/primarycare-kinki/> 是非、アクセスしてみてください。

(学会トップページ <http://www.primary-care.or.jp> 上部メニュー「講演会・支部活動」から)

→ 詳細は、上記ホームページをご参照願います。

ホームページ担当：梶原信之